

調査孔 ミエール・E

はじめに

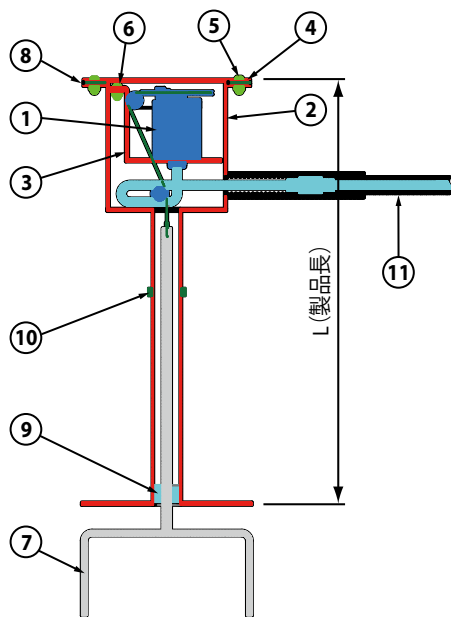
沈下を許容して函体の底版下に空洞等を発生させない構造の柔構造樋門においても、函体底版下の実際の状況は調査をする必要があり、調査の結果空洞化が確認された場合は、グラウトを充填するなど対策が必要となります。

従来のグラウト管は、函体内部下床をドライ状態にして沈下板の沈下量を測定するため、常時流水がある場合、測定が大掛かりになり測定期間や費用が増大することが想定されます。

この様な状況下でも、沈下板の沈下量を簡単に地上で測定できる新しい調査孔ミエール・Eを開発しました。

初期投資は若干必要ですが経年の測定経費を考えると非常に経済的な製品です。

構造断面図



標準仕様

番号	品名	材質
①	変位計	SUS304
②	調査孔本体	SUS304
③	変位計受け台	SUS304
④	蓋	SUS304
⑤	六角穴付きボタンボルト	SUS304
⑥	〃	SUS304
⑦	沈下板	SUS304
⑧	密閉ゴム	EPDM
⑨	フィルター (土砂侵入防止)	合成繊維
⑩	水膨張ゴム	合成ゴム
⑪	測定ケーブル	
⑫	端末収納ボックス	SUS304

特長

1. 流水の水位や流量に関係なく沈下状況が容易に測定できる。
2. 沈下板により底版下空洞の発生状況を測定することができる。
3. 地上で安全に定期的な測定ができる。
4. 変位計は0.5Mpaの水圧まで性能を発揮するため耐久性は十分ある。

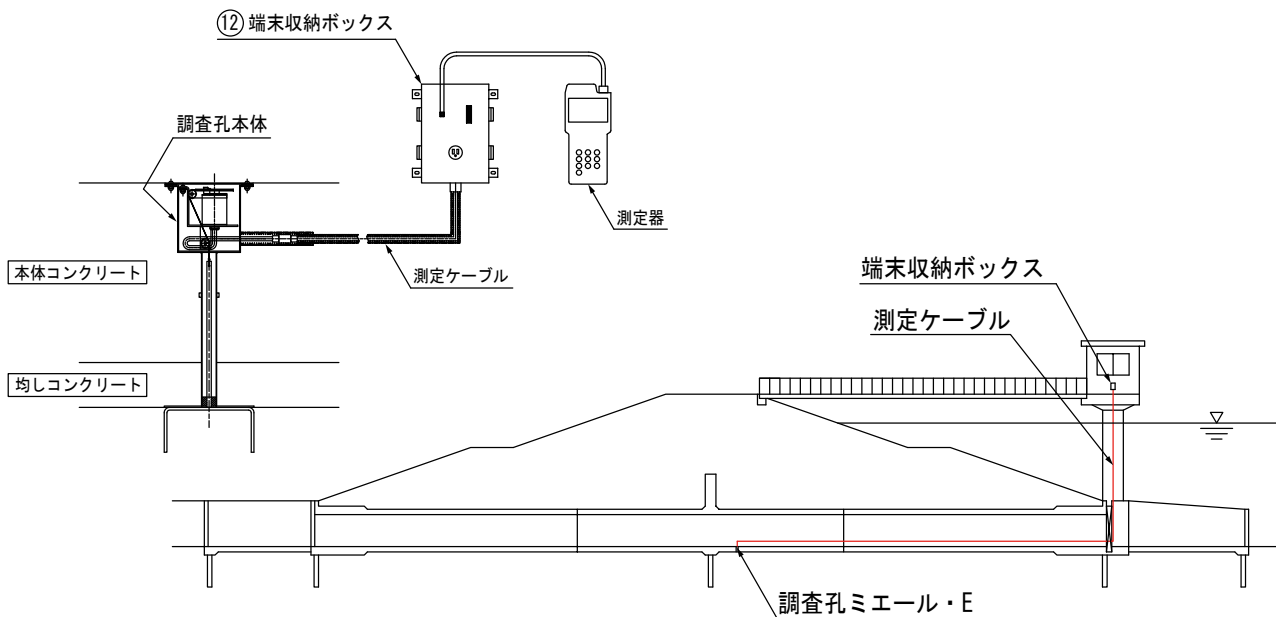


ミエール・E 製品外観

性能

	測定可能沈下量	許容水圧
性能	200mm	0.5MPa

設置概要図



※測定器は別途購入となります。

ゴム材料の物理的性質(密閉ゴム)

項目	単位	規格値	試験値	試験方法
硬さ	---	A50 ± 5	A51	硬さ試験 JIS K 6253
伸び	%	600 以上	900	引張試験 JIS K 6251
引張強さ	N/mm ²	10 以上	11.9	引張試験 JIS K 6251

(社内規格)

ミエール・Eに使用する鋼材は、JIS 規格品を採用しております。

FTK 東京ファブリック工業株式会社

支店

- 札幌 盛岡 仙台 宇都宮 新潟 東京 横浜 名古屋
金沢 京都 大阪 高松 広島 福岡 鹿児島



お問い合わせ先

本店

〒163-0429 東京都新宿区西新宿2-1-1 新宿三井ビル29階
URL : <https://www.tokyo-fabric.co.jp/>